



指定統計第67号
 漁業センサス
 農林水産省

様式調第2号

2003年漁業センサス
 海面漁業調査

会社、官公庁・学校・試験場調査票

平成15年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収など）に使用することはありません。

	大海区名							
指標欄	大海区	都府県(支庁)	市区町村	漁業地区	基本調査区	客体連番	経営組織	
名称						調査員記入欄		
番号								

会社	官公庁・学校場
3	7

事業所名

本社名

(該当番号を記入します。)

本社所在地

都道府県

市区町村

電話番号

記入上の留意事項

- この調査票は、会社、官公庁・学校・試験場の方が直接記入していただくようお願いします。
- 記入に当たっては、「会社、官公庁・学校・試験場調査票の記入の仕方」の注意事項及び調査票に書かれている注意事項をよく読んで記入されるようお願いします。
- 調査票の内容については、本年（平成15年）の11月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。なお、過去1年間という場合は、平成14年11月1日から平成15年10月31日までを指します。
- 調査票への記入には、シャープペンシルか鉛筆を使用してください。
- 数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右に詰めて記入してください。

次回、お伺いしますのは 月 日 ですので、それまでに調査票の記入をお願いします。

なお、記入に当たって分からない点がありましたら、調査員におたずねください。

調査員氏名	
電話番号	

[漁業経営について

漁業種類及び漁業制度の記入に当たっては「漁業種類の地方名称と制度区分一覧表」を参考にしてください。

1 過去1年間に営んだ漁業種類は何ですか。
該当するものに 印を記入してください。
(雇われて従事した漁業種類は除きます。)

「活魚」とは生かして水揚げし、生きている状態で販売したものをいいます。
なお、漁業者が特に生かすための措置を講じていなくても生きている状態が通常のものとは含めないこととします。

底	遠洋底びき網	101	0	0	0	0	活魚販売を行ったものに印
	以西底びき網	102	0	0	0	0	
び	沖含底	1	103	0	0	0	1
	網	2	104	0	0	0	
き	縦びき	1	105	0	0	0	1
	縦びき	その他	106	0	0	0	
網	小	横	107	0	0	0	1
	型	網	108	0	0	0	
船	ひ	回	109	0	0	0	1
	き	寄	110	0	0	0	
地	ま	1	111	0	0	0	0
	ま	2	112	0	0	0	
ま	大	1	113	0	0	0	0
	中	2	114	0	0	0	
き	中	1	115	0	0	0	1
	小	2	116	0	0	0	
網	巾	1	117	0	0	0	1
	巾	2	118	0	0	0	
刺	さ	1	119	0	0	0	0
	け	2	120	0	0	0	
敷	さ	1	121	0	0	0	0
	敷	2	122	0	0	0	
大	型	1	123	0	0	0	1
	小	2	124	0	0	0	
小	型	1	125	0	0	0	1
	型	2	126	0	0	0	
は	遠	1	127	0	0	0	0
	近	2	128	0	0	0	
え	遠	1	129	0	0	0	0
	近	2	130	0	0	0	
網	遠	1	131	0	0	0	0
	近	2	132	0	0	0	
釣	遠	1	133	0	0	0	0
	近	2	134	0	0	0	
釣	遠	1	135	0	0	0	0
	近	2	136	0	0	0	
小	型	1	137	0	0	0	1
	型	2	138	0	0	0	
潜	水	1	139	0	0	0	0
	器	2	140	0	0	0	
採	魚	1	141	0	0	0	0
	貝	2	142	0	0	0	
海	魚	1	143	0	0	0	0
	類	2	144	0	0	0	
面	魚	1	145	0	0	0	0
	類	2	146	0	0	0	
養	ま	1	147	0	0	0	1
	だ	2	148	0	0	0	
殖	ほ	1	149	0	0	0	1
	た	2	150	0	0	0	
種	か	1	151	0	0	0	0
	き	2	152	0	0	0	
苗	く	1	153	0	0	0	1
	る	2	154	0	0	0	
養	ほ	1	155	0	0	0	0
	や	2	156	0	0	0	
殖	そ	1	157	0	0	0	0
	の	2	158	0	0	0	
を	こ	1	159	0	0	0	0
	ん	2	160	0	0	0	
含	わ	1	161	0	0	0	0
	か	2	162	0	0	0	
む	の	1	163	0	0	0	0
	り	2	164	0	0	0	
真	そ	1	165	0	0	0	0
	の	2	166	0	0	0	
珠	真	1	167	0	0	0	0
	珠	2	168	0	0	0	

2 過去1年間に営んだ漁業種類の漁業制度は何ですか。

(海面養殖のみを営んでいる漁業経営体は記入の必要はありません。)

営す販の
んて売も
だに金の
も額に
の印位印

大臣許可漁業	201	0	0	1	2
知事許可漁業	202	0	0	1	2
大臣承認漁業	203	0	0	1	2
漁業権漁業	204	0	0	1	2
自由漁業	205	0	0	1	2
その他	206	0	0	1	2

3 海面養殖業について

営んでいる養殖種類についてのみ記入してください。
海面養殖業を営んでいない場合は4へ(次ページ右)

(1) 魚類養殖の規模はどのくらいですか。

養殖施設面積 ... 経営体の所有(借入を含む)する総施設面積
使用面積 ... 施設面積のうち、通常使用している面積(魚類を放養しない面積を除く。)

ア 魚類養殖全体の養殖場の施設面積はいくらですか。(m²)

養殖場の施設面積	301								
使用面積	302								

イ ぶり類養殖の養殖場の面積はいくらですか。(m²)

養殖場の施設面積	303								
使用面積	304								

ウ まだい養殖の養殖場の面積はいくらですか。(m²)

養殖場の施設面積	305								
使用面積	306								

エ ひらめ養殖の養殖場の面積はいくらですか。(m²)

養殖場の施設面積	307								
うち、陸上水槽の面積	308								
使用面積	309								

[漁船について

過去1年間に漁船を使用して操業しましたか。 → 漁船を使用していない方は6ページへ

↓
漁船を使用した方は1へ

1 使用した漁船の種類は何ですか。
(借りて使用した場合も含めます。)

(1台の船外機を複数の無動力船に付けて使用した場合は、1隻を船外機付船とし、他は無動力船としてください。)

2 過去1年間に使用した無動力船、船外機付船のうち、11月1日現在保有している漁船は何隻ですか。

(借りて使用している船も含めます。)

(使用したものをすべてに 印を記入してください。)

	動力船	船外機付船	無動力船
5 0 1 0	1	2	3

→ 無動力船

5	0	2	0	0		
---	---	---	---	---	--	--

 (隻)

→ 船外機付船

5	0	3	0	0		
---	---	---	---	---	--	--

 (隻)

3 動力船について (動力船のみ記入し、無動力船、船外機付船は記入しないでください。)

(1) 過去1年間に使用した動力船について記入してください。					(2) 11月1日現在				
漁船名 <small>1 漁船名は左からつめて1マスに1字ずつ記入してください。 2 16隻以上動力船を使用した場合は補助票に記入してください。</small>	漁船番号	トン数 <small>(小数点以下2位まで記入してください。)</small>	新受けた船に印 受けた船に印 適用を	11月1日現在の保有の有無		主機関の馬力数 <small>(漁船法登録馬力 農林馬力数)</small>	新受けた船に印 馬力数の適用を	竣工した年	
				保有している	保有していない				
無動力船、船外機付船は記入しないでください。		小数点 (トン)		いずれかに印				(年)	
	601	.	1	1	2		1		
	602	.	1	1	2		1		
	603	.	1	1	2		1		
	604	.	1	1	2		1		
	605	.	1	1	2		1		
	606	.	1	1	2		1		
	607	.	1	1	2		1		
	608	.	1	1	2		1		
	609	.	1	1	2		1		
	610	.	1	1	2		1		
	611	.	1	1	2		1		
	612	.	1	1	2		1		
	613	.	1	1	2		1		
	614	.	1	1	2		1		
	615	.	1	1	2		1		

(2に印が付いた場合、以降については記入の必要はありません。)

漁船 --- 経営体が所有又は借りている船のうち、過去1年間に自己の漁業生産に使用した主船及び付属船(火船、魚探船、運搬船等)について記入してください。
 ただし、漁船登録を受けていても直接漁業に使用しなかった船(遊漁のみに使用、買い付け用運搬船等)は除いてください。

新トン数の適用を受けた船 --- 昭和57年7月18日以降に建造した船及び特定修繕(総トン数に変更を生ずる修繕)を行った船がすべて該当します。

農林馬力数 --- 漁船法により規定されている漁船登録に用いられる馬力数です。

新馬力数の適用を受けた船 --- 平成14年4月以降に、新たに推進機関を搭載した船が該当します。

単一操業 --- 操業した漁業種類が1種類の場合
 複数操業 --- 操業した漁業種類が2種類以上の場合

出漁日数の数え方 --- 漁場までの往復の日数と漁場における操業日数を合計した日数です。
 日帰り操業は1日のうちに2回以上操業しても1日と数えます。
 1航海が1夜の場合(夕方出航し、翌朝入港した場合)は1日とします。
 2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までを通算した日数とします。

販売金額1位の漁業種類 --- 漁業種類番号及び主な操業種類については、漁船ごとに、操業した漁業について「漁業種類の地方名称と制度区分一覧表」を参考にして記入してください。

経営体が保有しているすべての動力船について記入してください。

漁利用状況 の 単一操業 複数操業		過去1年間の 出漁日数	販売金額1位の漁業種類について													外国人	
			全国漁業種類番号を 記入してください	乗組員数について						女子							
				15歳	30歳	40歳	50歳	60歳	65歳以上								
いずれかに印	(日)																(人)
1	2																
1	2																
1	2																
1	2																
1	2																
1	2																
1	2																
1	2																
1	2																
1	2																
1	2																
1	2																
1	2																
1	2																
1	2																

〔 会社について 〕

1 ページの経営組織が「会社」の場合に記入します。

- 1 本社 事業所の区分及び会社の種類の該当するものに印を記入してください。

本社・事業所の区分			会社の種類 (いずれかに印してください)			
本社	事業所		株式	合資	合名	有限
801	0	0	1	2	3	4

- 2 11月1日現在の従業員数について

- (1) 漁業以外の仕事に従事した人も含めたすべての従業員数を記入してください。

(本社の場合は、事業所を含めた従業員数ではなく、本社だけの従業員数を記入してください。)

802									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

以下、このページの点線枠で囲まれた項目は本社のみ記入する項目です。「1 本社・事業所の区分」で本社に印が付いた場合のみ記入してください。
また、記入に当たっては、本社及び事業所を含めた会社全体について記入してください。

(点線枠内は本社のみ記入してください)

- (2) 事業所も含めた会社全体の従業員数を記入してください。

	計	803							
常 雇	804								
臨時雇・日雇	805								

- 3 資本金について該当するものに印を記入してください。

(株式会社については払込み済資本金に、合資、合名、有限会社については出資金の金額に印を記入してください。)

100万円未満	100万円	200万円	500万円	1,000万円	3,000万円	5,000万円	1億円	10億円以上	
806	1	2	3	4	5	6	7	8	9

(点線枠内は本社のみ記入してください)

- 4 漁業の専業・兼業について

- (1) 過去1年間に営んだ事業が、漁業のみ場合は「専業」に、漁業以外の事業も営んだ場合は「兼業」に印を記入してください。

				専業	兼業
807	0	0	0	1	2

「5 子会社について」へ

- (2) 過去1年間の総販売金額に占める漁業部門の割合について該当するもの一つに印を記入してください。

25%未満	25%～50%	50%～75%	75%以上				
808	0	0	0	1	2	3	4

- (3) 過去1年間に漁業以外に営んだ事業に印を記入してください。また、経営体を持つ事業所の数を主に営んだ事業別に記入してください。

		営んだものすべてに印	販売金額一位に印	のものに印	事業所の数
製造業	水産加工業	811	1	2	
	その他	812	1	2	
卸売・小売業、飲食業		813	1	2	
サービス業		814	1	2	
その他	冷蔵倉庫業	815	1	2	
	その他	816	1	2	

- (4) 自社用の冷凍・冷蔵工場数を記入してください。(寄託品を取り扱わない自社用の水産物を保存する冷凍・冷蔵工場数を記入してください。)

817	0	0		
-----	---	---	--	--

- 5 子会社について

事業別に子会社の数を記入してください。

			子会社の数	
漁業		821	0	0
製造業	水産加工業	822	0	0
	その他	823	0	0
卸売・小売業、飲食業		824	0	0
サービス業		825	0	0
その他	冷蔵倉庫業	826	0	0
	その他	827	0	0

